

国際ロータリー第2730地区

# 高鍋ロータリークラブ 会報



会長 藤本 範行  
 副会長 松尾 正博  
 幹事 中武 泰一郎  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 例会場 ホテル泉屋 2F  
 事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4  
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

## 第1924回 平成28年4月7日プログラム

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 点 鐘        | 7. 月初めのセレモニー |
| 2. ローターソング    | 8. BOX披露     |
| 君が代・奉仕の理想     | 9. 各委員会報告    |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 会員卓話     |
| 4. 会長の時間      | 11. 次週例会案内   |
| 5. 幹事報告       | 12. 点 鐘      |
| 6. 出席報告       |              |

2730 地区ガバナー 野中 玄雄

中部分区ガバナー補佐 橋口 正樹  
 RI テーマ 『世界へのプレゼントになろう』  
 第2730地区テーマ 『奉仕は力！活かそう例会』  
 高鍋ロータリークラブテーマ  
 『創立40周年へのプレゼントになろう』  
 4月の月間テーマ  
 母子の健康月間

本日の例会案内 \*米山ランチ  
 \*月初めのセレモニー \*雑誌紹介  
 \*クラブ研修 \*会員卓話一坂田君 \*理事会

次週例会案内；4月14日（1925回）  
 \*早朝例会&ロータリー公園清掃  
 6：40～朝食（レストランおぐら）7：00～清掃

## 第1923回 例会内容

夜間例会&観桜会

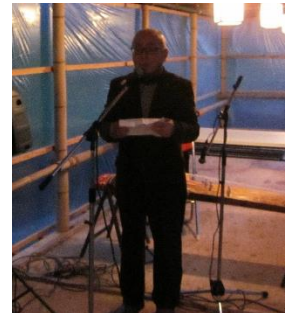
於；舞鶴公園堀床



生目流・箏曲の演奏 押川祐子様



会長挨拶 藤本範行君



副SAA 青木善明君



## ■会長の時間

会長 藤本範行君

皆さんこんばんは。

今日は観桜会ということで、例会の会場も舞鶴公園のお堀に作られた堀床で開催されることになりました。ご存知のように、この堀床は灯籠まつりの際に、我らの仲間が経営する山口鉄工建設、岩切建設、増田工務店によって作られたものです。今夜は、こんな素敵な場所で例会が開催できてうれしいのですが、あいにくの雨のうえに肝心の桜もまだほとんど花が開いておりません。残念ではありますが、雨が「ふり込む」のはいいことが訪れるといえますから、今宵は大いに楽しくやりましょう！

さて今日で3月も終わります。3月31日は、何の日でしょうか？3・3・1の数字を考えてください。33は耳、1は、いい日ということで、日本オーケストラ連盟が「オーケストラの日」と決めたそうです。また1947年のこの日には、教育基本法が公布され、翌日から、6・3・3制がスタートしています。海外では、フランスのパリを代表するエッフェル塔が、フランス革命後100年を記念して建設され、1989年に完成して落成式が行われています。

本日のために色々な企画と準備を進めてくださった橋口部門長、岩切親睦委員長はじめ親睦委員の皆さん方に感謝しながら、今宵の観桜会を楽しませていただきます。

生目流・箏曲の演奏をしてくださいます押川祐子様には、足元の悪い中をようこそお越しくださいました。観桜会に相応しい素敵な演奏で雰囲気盛り上がりましますことと、楽しみにしております。よろしくお願いたします。

## ■幹事報告<文書案内>

幹事 中武泰一郎君

\*2016-17年度の為の地区研修協議会資料作成情報確認

\*第3期RLI-2730パートⅢのご案内(5/31締切)

日時 2016年6月26日(日) 9:50~17:00

場所 宮崎日本大学学園 登録料 3,000円

\*中部分区会長幹事会のご案内

日時 2016年4月26日(火) 18:30~

場所 宮崎市 ほんだ家

## ■出席報告

出席委員長 石井秀隣君

出席状況 (3/31)

会員数	47名
出席会員数	36名
ホーム出席率	76.60%
前々回の修正出席率	85.11%

## 4月の例会案内

- 4/7 1924回 月初めのセレモニー・米山ランチ  
雑誌紹介・クラブ研修・会員卓話・理事会
- 4/14 1925回 早朝例会&ロータリー公園清掃  
6:40~朝食(おぐら) 7:00~清掃
- 4/21 1926回 創立40周年全体会・血圧測定  
100万ドルプログラム委員会
- 4/28 特別休会

## 堀床での観桜会風景~

雨にも負けずに盛り上がりまします。



親睦委員の司会 長濱君



## ☆会員卓話

石井秀隣君

### 私の40年

昭和49年が今から遡る40年前です。

生命の尊さ、美しさ、その永遠性、そしてそれを破壊するものへの抵抗。これが今日まで私の絵画の根底に流れる一貫したものです。1枚の作品を創るのに50枚の下絵をとるようにとの指導を受けました。50通りの検討を加えると明確なものが見えてきます。永年の思考方法が身について自分では絵画的思考と命名していますが、常にその思考方法で事に当たっています。

昭和49年は高校時代で学校運営の大きな柱の一つの野球部の運営を任せられました。専門の油絵は最低限、東京の展覧会に出品する作品の制作が精一杯です。

私はこの高鍋高校の野球部長と後で引き受けた高鍋町美術館長との二つが私にとっては経営だと思いました。

私は絵画的思考により最善唯一の方法で事に当たりました。高鍋高校野球部は私が出場した二度の夏の甲子園以来姿を消しました。高鍋町美術館も私の時の入館者数にはその後現在に至るまで及んでいません。

高鍋高校野球部も高鍋町美術館も今や影の薄い状態です。平成6年に定年退職をしてから、制作を中心とした自分の生活が年々充実してきています。務めていた時もよほどのことがない限り絵筆をとらない日は一日とて無かったのですが、それが退職を機に絵筆一本のエネルギーにつながっています。

絵をはじめて65年ぐら経った今、文字通りの制作が楽しくてたまりません。6年先には画業70年展を県の美術館で開催します。それまではスケジュール満杯です。現在82歳です。(3/17の卓話です)